



### 平成28年度予算要望書を区長に提出

区民から寄せられた切実な要望を、「くらしと営業」「保健・医療」「平和・民主主義」など13分野・487項目にまとめ区長に提出しました。



### くらしを守る区政に！区内団体と意見交換

医療や介護・保育・中小業者や高齢者など区内の各団体と予算要望について懇談会を行いました。



### 戦争法廃止求め 宣伝署名活動

共産党区議団は戦争法を廃止しようと、区内の駅頭や主要スーパー前で街頭宣伝署名活動を行いました。



### 航空機騒音被害対策について伊丹市を視察

国が進める羽田空港の航空機飛行経路の変更について不安の声が寄せられています。大阪国際空港周辺(伊丹市)の騒音問題等について視察しました。



### 岐阜市の公共交通(連結バス等)を視察

岐阜市が取り組んでいる公共交通事業を視察。住民参加でコミュニティバスを運行している事を伺い、都内でも導入が検討されている連結バスに乗車しました。

## 敬老祝い金も見直し 保育料負担増 交通事故相談所も廃止

### 区民福祉バツサリ



### 暮らしや福祉は大幅削減

江東区は長寿のお祝いとして、敬老祝い金を77歳の方、88歳の方、99歳

以上の方に毎年お渡ししてきました。それを、高齢者が増え、お金がかかるという理由で見直し削減しようとしています。今まで江東区を支えてきた方への、感謝と長寿のお祝いにまで手を付け削減するなど、冷たい区政と言わざるえません。

### 子育て支援に「逆行」

保育料も値上がりです。保育料の負担軽減の暫定措置が、今年度いっぱいまで打ち切り。来年度から第二子の減免は拡充

### 増え続けるため込み基金

区民のための施策がバツサリ切られる一方で、

また、江東区は昨年23区で一番死亡事故が多かったのにも関わらず、交通事故相談も廃止が提案されました。相談所では、相談件数も年間1600件以上と非常に多く、区民の方からも喜ばれていました。



ため込み基金は増え続け、総額942億円。この10年間で2倍に増えています。区民の暮らし福祉を削りため込みに回す区政から、暮らし福祉優先の区政への転換が求められます。

### 日本共産党提出

## 「くい打ち偽装」「35人学級早期実現」の意見書など採択

第4回区議会定例会では、日本共産党提出の「くい打ち偽装」改ざんに関する意見書と「教職員の充実と35人学級の早期実現を求める」2本の意見書など計4本の意見書が採択されました。

「くい打ち偽装」に関する意見書は区民の不安の広がりを受け、「公正中立な第三者機関による検査体制の確立など法改正などで再発防止を求める」内容の意見書としてまとめられました。また「35人学級の早期実現を求める意見書」は、財務省が少子化を理由に、教職員定数を減らし、教育予算を切り縮めようとする問題を取り上げ、「少子化の今こそ重い負担なしに、35人学級実現の好機」として、早期実現を求めるものです。



### 区内の学校でも杭工のデータ偽装が

### 区民の中に不安広がる

江東区内でも、旭化成建材が杭打ち工事を行った第二亀戸中学校と豊洲北小学校、ジャパンパイルが杭打ち工事を行った児童・高齢者総合施設「グランチャ東雲」で掘削データや根固め液の注入記録で流用が行われていたことが明らかになり、区民の間に不安が広がっています。

### 規制緩和が背景に

この問題の背景には、それまで地方自治体が行ってきた建築確認検査を民間の「指定検査機関」でも可能にする建築行政の規制緩和が行われてきたこと

和が行われてきたことがあり、国と自治体の責任は重大です。日本共産党は、原因と責任の究明、再発防止にむけた建築確認審査の体制整備、公平・公正な第三者による検査体制の確立などを求めています。



グランチャ東雲